

令和7年度 第9回 昭島市社会教育委員会会議・要点録

開催日時／会 場 令和7年12月23日（火）午後7時～9時 イーストテラス・サブスリー
202 会議室

出席者 二ノ宮リム議長、谷部副議長、鈴木委員、渡部委員、指田委員、齋藤委員、
石川委員、信國委員、平委員、小池委員
事務局 秋山社会教育係長、久保社会教育主事

1 開 会

＜配付資料＞

- 資料1 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会・第1分科会 出張報告
第66回全国社会教育研究大会茨城大会及び第55回関東甲信越静社会教育研究大会
茨城大会第5分科会 出張報告
- 資料2 令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会次第
- 資料3 令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育研修会
- 資料4 都市社連協 表彰候補者推薦について
- ・とうきょうの地域教育 No.155
 - ・教育・青少年だより エール 19号

2 報 告

（1）第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会報告（資料1）

副議長 11月20日～21日2日間、横浜市にて開催された。大会スローガンは「社会教育で創る 育む つなげる 共生の未来へ」、研究テーマは「すべての人が学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」。記念講演「誰もが自分らしく生きることができる社会をめざして」講師は栗栖良依氏。2日目、第1分科会のテーマ「社会教育委員の役割」に沿って2例の事例発表があった。①「星ヶ塔黒曜石原産地遺跡を題材にした学び～紙芝居を作った私たちの物語～」発表者は依田秀人氏。②「子どもと大人が共に育つ社会の構築を目指して」発表者は橋本絵美里氏、金田ゆかり氏。

助言者（若原 幸範氏）からのコメントとしては、社会教育委員の職務を基点にしながら、地域の物語を創るコミュニティ・ストーリーは、とても大事なことで、義務ではなく社会教育活動を楽しく感じるように展開をしていただきたい。まだ充て職的感覚をお持ちの社会教育委員も散見するがこれからは諸計画の立案や諮問は勿論、大人でも学習意欲を持ってもらう事が大事であり、社会教育委員自ら行動して更に+αを展開して欲しい。

（2）令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡会 第2ブロック研修会報告（資料2）

委 員 11月29日に国分寺市ひかりプラザにて開催。昭島市からは社会教育委員2名と事務局1名が参加。国分寺市は子どもたちの活動できる場所をしっかりと考えている。今回、ブロック研修の参加者が少なかったが、昭島だけにいたらわからないことを聴くことができる。

皆さんお忙しいと思うが、ぜひ参加してもらいたい。

事務局 事例発表を3本行った。そのうちひとつが、全国で3本の指に入る加入率を誇る自治会での活動について。防災に力を入れていて、訓練を行う前に子どもたちの吹奏楽部の演奏を行い、それを見に来る親御さんを巻き込み防災訓練をし、食べ物を配布して、昔遊びをするなど仕組化されている。

副議長 ブロック会議があるので、他市がどのようなことを行っているかを知ることができる。
議長 コロナ前は委員の皆さんほとんど全員参加していたこともあった。ぜひ、皆さん来年は前向きに参加いただければ。今回事例発表にあった地域はどういう地域なのか。駅近なのか。

事務局 駅からは近くないところ。国分寺市は中学校区ごとに一つ公民館があるが、ここは公共施設がない地域。消防車が入り込めない地域のため防災に力を入れている。

委員 自治会長がやり手で人間の心理をついて、うまくやっている。

副議長 今回課題に感じたのは、この自治会長だからこそなりたっていて、後継者を見つけるのに苦労している。

議長 本来、子ども会に入り、そこから自治会へ繋がるのだが、今の時代はそれが機能していない。先日、川越の事例を聞いたが、町会と学校が密接に付き合いをしていた。校内の学童でお年寄りのサークルを行い、その後学校見学をし、帰り際に学校のサポーターとして登録をしてもらうというように。これにも地域のキーパーソンがいる。

(3) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会研修会報告(資料3)

委員 12月13日に小金井市宮地楽器ホールにて開催。昭島市からは3名参加。全体で100名ほど参加。各ブロック研修会の実施報告を瑞穂町、国分寺市、町田市、西東京市、調布市が行った。印象的だったのが、第5ブロック調布市の報告。「市民参加演劇で社会教育を考える」というテーマで、市民を巻き込んで演劇を行った。

2部のパネルディスカッションでは小金井第三小のおやじの会の繋がりの方々がそれぞれの主張をされていた。ディスカッションの時間がなく残念であった。

事務局 研修会のテーマがプレイパークやコミュニティスクールであり、学校や子どもを取り巻く内容が近年多いと感じた。「ゆるやかなつながりの種まき」は何だろうこれは?と思いながらも聴かせてもらった。より若年層(小・中・高校生)に向けての社会教育が最近多いと思った。学校の先生方に、各校のコミュニティスクールの様子を聞いてみたい。

委員 昭島市は一気に始まったわけではなく、本校は今年度から開始した。地の利があるので今までもやってはいたが、学校間の連携を銘打って何かできないかと考えている。3月に一年間の学習活動の発表の会があるのだが、それに委員の方やPTAの方を招待してみようと考えている。地域がこの会にこういった形で参画できるのかを手探りでやっているところである。

委員 本校も今年度からコミュニティスクールとなった。道徳地区公開講座で校歌を作曲した方のお子さんに講演してもらった。その方は昔あそびもやっている方で、昔遊びをやった後に交流給食を行ったり、高校とは、夏休みにサマースクールとして学習支援をしていたりした。周年行事の際は保育園に鼓笛隊をやってもらう等、保育園とは月1交流を

やっている。学習発表会の練習の合間に保育園に出し物をやってもらったり、保育園のマラソン大会に参加したりと交流している。このように異年齢交流をメインに行っている。ウィズユースがないので、いかにコミュニティスクールとして地域との形に変えていけるかというところ。

議長 川越の校長に聞いたのだが、PTA はなくなったが、希望制であるが地域との交流を密に行っている活動がある。卒業生や祖父母などの保護者も入っていて役員もすぐに決まる等、活発に活動している。好循環に入るとうまくいく。

委員 ボーイスカウトは光華小で多く活動している。校長先生によるのかも。

委員 コロナを機に活動がなくなってしまい、復活できていないこともある。

議長 校長先生が変わってしまうからこそ、地域がしっかりしていけないといけないのかもしれない。

3 協 議

(1) 社会教育委員自主研修について

事務局 前回話していた予算の流用に関しては、財政課へ相談したがやはり難しいとのこと。前年度の予算編成時にどこに行くか計画的に決めていかないと難しい。今回、無料で行ける自主研修の場所を探すか、委員の方でご負担していただくかとなる。追加で確認したのが、移動手段として市の車で 10 人乗りのハイエースがあるので、運転手の予定と車の空き状況が合えば利用できる。

議長 金額はおいくらか。

事務局 2 時間 5000 円と記載があるが、予算に応じてといわれている。

議長 皆さん、町田市でいかがでしょうか。例えば、一人 1000 円ならお支払いできるという方はどれくらいいらっしゃるか？では、それでよければ、町田で進めたい。運転手のスケジュールと車の空きと施設の空き状況で日程を決めたい。2 月、3 月でどう決めましょうか。

事務局 相手の施設側の都合もあるかと思うので。

議長 3 月 5 日（木）・11 日（水）・16 日（月）で相手方に打診してもらいたい。

委員 いつ決まるか？仕事の都合でシフト変更が必要となるので。

事務局 年明けすぐに相手方に確認して連絡したい。

(2) 第 33 期昭島市社会教育委員の建議または活動報告書について

事務局 教育長へ話をしたところお願いしたいとのこと。新たな視点と時点修正をしていただきたいとのことであった。コロナ渦に作った計画であるので、今の時代にあった計画にしていきたいとのことであった。可能であれば、早速次回から点検評価を見ていただいた上での意見出しをお願いしたい。それを取りまとめてできれば 3 月中に教育長へ提出したいと考えている。タイトな日程ではあるが、来年度から策定員会が始まるのでできるだけ計画に反映させるため

議長 これまでは会議を重ねて半年位はかかっていた。

事務局 皆さまの任期中に取りまとめたい。後ほど、計画の URL を送付するのでそちらを確

認いただきたい。内容として学校教育と生涯学習があるが、皆さまに見ていただくのは
44 ページからの生涯学習分野のみである。

議長 次回までに皆さんはそれを見てきてもらえればと思う。

4 その他

・社教情報第 94 号購入について

次回	1 月 27 日（火）午後 6 時 30 分より 玉川会館
	2 月 26 日（木）午後 7 時より 203 会議室+Web 会議
	3 月 26 日（木）午後 7 時より